



桐生ロータリークラブ週報

2006年

国際ロータリー第2840地区 2006-2007年度 国際ロータリーのテーマ



LEAD THE WAY

R.I 会長 ウィリアム B. ボイド

善意というものがなければ
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原 勝樹

会長 金子 篤郎 幹事 堀 明

クラブ会報・広報委員会 村田 勝俊・岸 省吾・蓮 直孝・吉田 和夫

10月30日号

第2585回・第2586回合同掲載

第2585回例会

(10月16日(月) 第2例会)

- | | |
|---------------------------------------|--|
| 1. 点 鐘 | 7. 幹事報告 |
| 2. ロータリーソング斉唱 | 8. 委員会報告 |
| 3. 来訪者紹介 | 9. 卓 話 「桐生新町まちづくり構想」 |
| 4. マルチプル・ポールハリスフェロー
バッチの贈呈 竹内 靖博 君 | 本一・本二まちづくりの会
会 長 森 壽 作 様
事業担当 大内 栄 様 |
| 5. 出席100%表彰 | |
| 6. 会長の時間 | 10. 点 鐘 |

ようこそビジター

〈卓 話 者〉 本一・本二まちづくりの会 会 長 森 壽 作 様 事業担当 大内 栄 様

出席100%表彰

岸田 信克君 10回
岸 省吾君 4回



会長の時間

○国際ロータリー第2840地区の第6回「ライラ研修」が10月7日(出)・8日(日)2日間に渡り、太田市蕨塚町にあります群馬県立東毛少年自然の家で開催され、桐生RCからも蓮地区ライラ委員をはじめ、会員6名、米山奨学生、RAC2名、IAC4名が2日間研修に参加してまいりました。

本年のテーマは「温故知新」で現在は新しきを追い求め突き進んでいく傾向にあるが、ここで一歩立ち止り、過去を顧みて、日本の良きたくさんを再度学び継承し、大切に育てて行こうということでした。又、サブタイトルに「自然の散策に音楽を」という事で、研修終了後「ロック演奏」を聞き、2日目の野外体験は「スネークセンター」「三日月村」の見学をし自然を散策致しました。基調講演も2日間ともあり、第一日目は「歴史に

学ぶリーダーの条件」というテーマで、平成の講談師 神田松鯉師匠の講演があり、第2日目は新島話し方教室代表 新島昇先生による「より良き人間関係を築く骨」というテーマで講演があり、この講演を基に若い人達とロータリアンと一緒にグループディスカッションを行い、親睦をはかりながら広く知己を得てそしてロータリーを理解してもらいながら、青年指導者の素質を持つ若人に訓練と経験を積ませ素質の向上を計り、より良きリーダーになってもらうことがライラ研修の目的である。又、桐生RCが本年はコホストクラブという事で、ホストクラブ新田RCの手助けを致しました。駐車場担当という事で、15名のRC会員、事務局の飯田さんにもお手伝いをお願いし、車の誘導、案内等にご協力いただき、風の強い一日でしたが本当にご苦勞様でした。来年は桐生RCがホストで「第7回ライラ研修」が平成19年10月6日(出)・7日(日)の2日間にわたり開催予定ですので、会員の皆さんにお手伝いいただく事になりますが、よろしくご協力下さいます様お願い申し上げます。

○国際ロータリー第2840地区の地区大会が10月14日(出)太田市の「ティアラグリーンパレス」にて開催され、桐生RCから17名の登録で参加してまいり

例会場 桐生倶楽部 TEL45-1513 例会日 毎月曜日 12:30PM

ホームページ <http://www.Kiryu.co.jp/Kiryurc/> メール kiryu-rc@ktv.ne.jp

第2586回例会

2006～2007年度 桐生5RC合同夜間例会

日時：平成18年10月23日(月) 点鐘：午後6時30分／会場：桐生プリオパレス

—— 例会次第 ——

司会：桐生RC幹事 堀 明君

1. 点 鐘 桐生RC会長 金子 篤郎君
2. ローターソング斉唱「奉仕の理想」
3. 桐生5RC会長・幹事、地区役員・委員紹介
桐生RC会長 金子 篤郎君
桐生5RC会長・幹事
桐生南RC 会長 根津紀久雄君 幹事 石関 厚君
桐生西RC 会長 羽鳥 隆君 幹事 阿左美 博君
桐生中央RC 会長 須藤 広志君 幹事 増田 浩三君
桐生赤城RC 会長 星野 榮助君 幹事 羽田野恭男君
桐生RC 会長 金子 篤郎君 幹事 堀 明君
- 地区役員・委員
国際ロータリー第2840地区
パストガバナー 矢野 亨君(桐生西RC)
群馬第2分区(A)ガバナー補佐 大友 昭久君(桐生南RC)
国際奉仕委員長 川堀 良治君(桐生南RC)
社会奉仕委員 下井田秀一君(桐生西RC)
社会奉仕委員 酒井 豊君(桐生中央RC)
国際奉仕委員 新井 清一君(桐生赤城RC)
ライラ委員 蓮 直孝君(桐生RC)
4. 物故会員への黙祷 広川 利子さん(桐生南RC事務局)
物故会員(2005年10月25日以降)
桐生西RC 金子 萬作様(2006年5月22日ご逝去)
5. 会長報告 桐生RC会長 金子 篤郎君
6. 幹事報告 桐生RC幹事 堀 明君
7. 点 鐘 桐生RC会長 金子 篤郎君

—— 懇親会次第 ——

司会：桐生RC SAA 岸田 信克君

1. 開会挨拶 桐生RC会長 金子 篤郎君
2. 挨拶 ガバナー補佐 大友 昭久君
3. 乾 杯(前幹事クラブ)
桐生赤城RC会長 星野 榮助君
4. 親睦チャリティーゴルフコンペ成績発表
表彰式 桐生RCゴルフ部長 阿部 高久君
5. 余 興「ダンス八木節」
舞ダンスファクトリー様
6. 閉会挨拶(次期幹事クラブ)
桐生南RC会長 根津紀久雄君
7. 諸事お知らせ 桐生RC SAA 岸田 信克君
8. 手に手つないで

ゴルフ団体成績			ゴルフ個人入賞者	
優 勝	桐生西RC	準 優 勝	川島康雄君	
準 優 勝	桐生赤城RC	ベストグロ賞	川島康雄君	
3 位	桐生南RC	ドラコン賞	川島康雄君	
4 位	桐生RC	ニアピン賞	坂入 勝君	
5 位	桐生中央RC	7 位 賞	阿部高久君	
		25 位 賞	坂入 勝君	
		35 位 賞	岸 省吾君	



幹事クラブ会長／金子君



ガバナー補佐／大友君



ゴルフ部長／阿部高久君



準優勝／川島康雄君



7位賞／阿部高久君



25位賞／坂入 勝君



35位賞／岸 省吾君



余興「ダンス八木節」

づくりを行う地場産業などの店、工房が地区全体に散らばり、来訪者が街の魅力を楽しめる「まち」とする。

Ⅲまちづくり構想の実現に向けた取り組みについて

1. まちづくり構想と具体的な取り組み

(1)桐生新町歴史的まち並み保存と取り組みについて

歴史的建造物の価値を再認識するとともに、その形態保存と活用を目的とした具体的な手法に対する取り組みを進め、桐生新町としての歴史・伝統・文化を継承する環境を整えることを基本に活動を進めてきました。

まちづくり協定・建築協定・景観条例・伝統的建造物群の指定などについて視察研修や「まちづくり塾」で勉強を重ね、検討をしてきた結果、次のような理由から「**伝統的建造物群保存地区の指定**」に向けた取り組みを、速やかに進めていくことにしました。

- ①伝建に指定されることにより、地区の格式が高まり、誇りをもって住み続けることができる。
- ②歴史的まち並みを保存するために伝建が指定されると規制は厳しくなるが、確実に保存・活用される。
- ③歴史的まち並みを保存していく場合、維持・管理費がかかるため、伝建に指定されることによりその一部に、公的資金の助成や税の軽減が受けられる。
- ④「伝建」という格付けにより外来者が増加し、活性化が見込まれる。

(具体的な取り組み)

ア. 伝建についての説明会を実施し、地区内の利害関係者に理解と了解をいただきます。

イ. 建物の耐震診断等の相談を行います。

ウ. 建物の改修・改築等の相談を行います。

エ. 土地・建物の賃貸借等の相談を行います。

(2)コミュニティ往来(空間)構想と取り組みについて

①本町通りにおいて、歩行者や自転車が、安全で安心して往来できるよう改善するための取り組みを段階的に進める。

②地域コミュニティの仕組みを確立し、本町通りと直行する路地や裏路地を住民相互が活発な交流の行える生活空間の一部として再生するとともに、地区にあった土地利用を検討する。

③本取り組みに伴い、他地区との連携のもとに公共交通及び居住施設の整備についての取り組みを進める。

(具体的な取り組み)

ア. 本町通りは、現況幅員内で歩道の設置、電柱の地中化等の安全対策の検討・整備を進める。

イ. 路地をコミュニティ道路としての整備について、検討する。

また、地区内全体の土地利用が図れる生活道路の検討・整備を進める。

ウ. 他地区との連携を図りながら、公共交通の利便性を図る。

エ. コミュニティーの充実と地区の活性化を高めるために、居住人口の増加、若年層の増加を目指した居住施設の整備を進める。

(3)まちなかキャンパス構想と取り組みについて

①本地区と群馬大学工学部が融合したまちにするために、大学と連携し、機能の一部を起業の拠点として利用できるように、歴史的建造物等の資産を活用し、地区全体を「まちなかキャンパス化」とする。

(具体的な取り組み)

ア. 歴史的建造物を活用した、群馬大学工学部の研究施設を誘致する。

イ. 歴史的建造物を活用し、群大生と地区住民が交流のできる施設(カフェ、居酒屋など)を整備する。

(4)ものづくり人材育成構想と取り組みについて

①北小学校、北中学校、桐生工業高校などとの連携により、ものづくりに関わる仕事で専門的かつ総合的能力を持てる人材育成ができるよう、新たな教育環境を整える。

(具体的な取り組み)

ア. 歴史的建造物を活用し、繭作り、撚糸、染色、織物などの施設を点在させ、学生、市民、来訪者が体験(滞在)できるシステムづくりをする。

(5)商業活性化構想と取り組みについて

①本町通りを中心に、地域に根ざした商店と、ものづくりを行う地場産業などの店、工房が地区全体に散らばり、来訪者が街の魅力を楽しめる「まち」とする。

(具体的な取り組み)

ア. 通り毎の個性的なイメージづくり(景観・店舗集積、ものづくりと店舗の共存・融合など)により、通りの個性化と魅力づくりを推進します。

イ. 工房ショップ、こだわりの店、個性を明確にした専門店などの誘導により、個店・商店街の質の向上を図り、集客を図ります。

Ⅳその他

このまちづくり構想の推進については、「地区住民と桐生市民による参加と協働」を基本方針として、今後のまちづくり活動に取り組むこととする。

アクトの日報告

桐生RAC幹事 宇塚 誠君

2006年9月17日(日) 渡良瀬川松原橋下河川敷にて

桐生RACで何度か行っております渡良瀬川の河川敷の清掃活動を行いました。当日はアクター2人とオブザーバー1人で参加人数はあまり集まりませんが、駐車場を中心にその周辺のゴミ拾いを行い、予想以上の成果を挙げる事が出来ました。



2006-2007年度 国際ロータリー第2840地区

地区大会

10月14日(土)太田市のティアラグリーンパレスにて開催され、桐生RACからは17名の方が参加しました。



ました。本年の地区大会・R I 会長代理は韓国の朴 鍾允氏(パク・チョンイン)で過去5回のR I 会長代理を務めているそうです。R I 会長代理の講評では、第2840地区会員の地区大会に望む真摯な態度と参加意識の強さに感動され、この気持をロータリーの奉仕につなげて下さいとの事でした。今回、桐生R Cはクラブ表彰を受けてまいりました。R I 関係表彰では『会員増強・拡大賞(優秀退会防止率)』の受賞。ガバナー表彰では『ガバナー賞』『会員入会優秀クラブ(純増6名)第一位』『ロータリー財団総額優秀クラブ第三位』を受賞致しました。本年も昨年度に負けない様にそれぞれの事業で表彰される様に頑張らなければと思っておりますので、よろしくお力添えご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 10月23日5 R C 合同例会当日、5 R C 合同チャリティーゴルフ大会に、ゴルフ部の皆さんには早朝より色々お世話になりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

幹事報告

- (社)日本てんかん協会 群馬県支部より「からっかぜ」が届いております。
- (社)群馬県臨床衛生検査技師会 副会長 立崎様より「生活習慣病予防講演会」のチラシをお預かりいたしましたので、テーブルの上に配布してあります。
- 太田南R Cより「2005-2006年度 卓話集」が届いております。
- 桐生南、桐生西、桐生中央、桐生赤城、前橋、足利、足利東の各R Cより週報到着。
- 次週10月23日(月)は桐生5 R C 合同夜間例会です。今年度は桐生R Cが幹事クラブとして開催いたします。合同例会ならびにチャリティーゴルフコンペへ多数のお申し込みをいただきましてありがとうございます。当日はお時間お間違えのないようご集合のほどお願い申し上げます。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(平成18年10月16日):総員67名・出席47名
平成18年9月25日例会修正出席率:69.8%

ニコニコボックス

佐々木裕君…本日の講師の森さんを歓迎して/岸田信克君…森壽作さんを卓話者に迎えて/前原勝良君…北小学校、北中学校を落第せず一緒に卒業した森壽作君をお迎えて/蓮 直孝君…10/6~7のライラ研修では多くの会員のお世話になりました。ありがとうございます。/金子篤郎会長・堀 明幹事…ライラ研修地区大会で会員の皆様にお手伝い、ご参加いただきありがとうございました。/竹内靖博君…孫の運動会でジジ・ババをやって来ました。山口さんも同じ様な事やりましたね。/阿部高久君…昨日桐高同窓会ゴルフコンペ盛大に行われました/吉田栄君…北川会員に大変お世話になりました/岸 省吾君・岸田信克君…出席100%/川村 隆君・大友一之君・森 末廣君…写真を戴きました

米山奨学委員会

藤井征夫会員 30,000円

卓話

「桐生新町まちづくり構想」



本一・本二まちづくりの会

会長 森 壽 作 様 事業担当 大内 栄 様

I「桐生新町まちづくり構想」の作成についての視点

「桐生新町まちづくり構想」については、以下の視点に基づき作成しました。

- 1 住民が主体となり、主役となる構想づくり。
- 2 これからのまちづくり活動の指針となる構想づくり。
- 3 住民にわかりやすい、構想づくり。

今後は、「桐生新町まちづくり構想」を軸として、住民や様々な人のご意見を参考にし、基本計画を作成していく予定です。

II「桐生新町まちづくり構想」の作成について

1. 目的

「桐生新町まちづくり構想」は、桐生市本町一丁目、二丁目を中心に、その周辺を含めた地区に残る伝統的な文化活動や歴史的な建物とまち並みなど、住民の想いを活かしたまちづくりを行うために、住民を主役とする“住民提案型”まちづくりのマスタープランとして策定したものです。

本構想が、これからこの地区におけるまちづくりの骨格となり、指針となることを目的とします。

(2)目標年次

「桐生新町まちづくり構想」は、10年後の平成28年を目標年次として作成する。

事業マトリクス(タイムスケジュール)については、平成18年度に作成する。

2. 将来像

①桐生市の歴史を物語る伝統文化や、まち並みを活かした生活空間を魅力とし、地区住民が生活を楽しみながら、誇りと生き甲斐をもって暮らせる「まち」とする。

②市民や地区住民同士の交流が活発に行われ、地震や火災などの災害にも対処でき、安全で犯罪などのない、安心して暮らせる生活空間と住民自治が整った「まち」とする。

③歴史的遺産の残る本地区が、群馬大学工学部のキャンパスとして、学生が自由に往来できる学びの場となる空間(まちなか研究室、学生サロン)と生活空間が融合された「まち」とする。

④地区及び周辺には、保育園・北幼稚園・北小中学校・桐生工業高校・群馬大学などの教育機関が整備されており、それらの交流と連携が図れる教育環境の整った希有な文教地区としての「まち」とする。

⑤本町通りを中心に、地域に根ざした商店と、もの